

令和5年度 第2回 ネイパル森運営協議会議事録

* とき／令和6年3月26日（火）

午後13時30分～14時30分

* ところ／ネイパル森 中研修室

【出席者】

委員 5名／須藤 智裕（森町教育委員会社会教育課長）
西尾 聡（森町立鷺ノ木小学校校長）
鍋谷 雪子（株式会社 nabeya）
小出 政彦（八雲町地域子ども会育成連絡協議会）
佐紺 摂子（北海道森高等学校長）
事務局 2名／小野 俊英（所長）
菊池 澄子（運営課長）
本田 憲司（オブザーバー道教委社会教育主幹）

【欠席者】

委員 2名／山口 敏男（全国林業研究連絡協議会常任理事）
丹崎 真由子（森町社会教育委員）
（他用務と重複のため）

1 開 会 <進行／菊池課長>

2 あいさつ

- ・ ネイパル森所長あいさつ

本会議出席のお礼と併せ、施設運営に関し、忌憚のない意見をもらい、地域における充実した教育活動、また、自然に親しむ活動を考えながら施設運営を目指したいとあいさつをした。

3 議長挨拶（西尾委員長）

下半期のまとめ、委員からの貴重な意見をもらい令和6年度につながる施設づくりに協力をお願いしたいとあいさつがあった。

4 報告事項<進行／西尾委員長>

（1）令和5年度下半期（10月から2月末）の利用状況

ア. 延べ宿泊者数

イ. 延べ利用者数

ウ. 日帰り利用者数

アからウについて事務局から資料をもとに次の説明を行った。【資料1ページ】

- ・ 下半期の11月12月は利用が落ち込んだ。1月からは回復傾向にあり、令和5年度3月には令和4年度に利用を控えていたスポーツ団体の合宿や、子ども会の団体利用が戻りつつあるが、インフルエンザが広く流行したため、その影響は少ない。
- ・ 2月から3月にかけての予約時の延べ宿泊者数は870人となっているが、すでにキャンセルや当日欠席により、今後も減る可能性がある。年令和5年度の達成目標9,000人には満たない見込みとなる。
- ・ 日帰り利用は、令和4年度には感染症流行で宿泊研修を日帰りで行っていた学校も宿泊に変更したため、日帰り利用者は減少となっている。ただし、令和5年年度2月末現在291,250円の利用料金収入が得られている。

- ・ 委員からは特段意見はなく、全ての報告内容は確認された

（2）令和5年度上半期の収支状況

アからイについて事務局から資料をもとに次の説明を行った。【資料2ページ】

ア. ネイパル森指定管理に係わる会計

下半期の収支を踏まえ年度の見込みは新たに行った修繕分を差し引いても 310 万円ほどのプラスになる見込み。また、令和 4 年度に利用料金を見直したことで、スポーツ少年団等の合宿が回復傾向にあるため、利用料金収入については予算を超えると見込まれる。また、日々の光熱費を節約、また、バスを廃車としたことによる維持費節約が考えられる。

イ. その他事業（食堂・物販）会計 令和 5 年 4 月から令和 6 年 3 月度見込み

上半期の収支を踏まえ、年度の見込みは 240 万円ほどのマイナスになる見込み。事業費（食事・教材）収入については、今年度一部の活動費を見直したため、収入については予算を超えると見込まれるが、給食提供に係わる支出は物価高騰に伴う支出増等が見込まれるため、赤字は避けられないと予想される。食事料金収入(13,850,000 円)に対して原材料支出は 50%となっており、今後も原材料費の高騰の影響は続く予想される。

【委員】

地元の農産物などの無料提供はないのか

- ▶ 野菜、お込みは地元農家から仕入れて提供している。海産物は、食中毒防止のため調理済みの食材を提供しているため、現状としては提供が難しい。

・他の委員からは特段意見はなく、全ての報告内容は確認された

(3) 上半期主催事業について

ア. 「防災キャンプ」

イ. 「〇〇の秋」

ウ. 「ネイパルダンススタジオ」

エ. 「ネイパルでクリスマス」

オ. 「ワールドクリスマス」

カ. 「ネイパルで冬あそび」

キ. 「大沼大冒険」

アからキについて事務局から資料をもとに次の説明を行った。

【資料 2 ページ、別冊主催報告資料】

- ・令和 5 年度からメール登録者への先行申し込みを行った。

【委員】

大沼大冒険について、興味があったが見学しなかったが、見学には至らなかった

- ▶ 活動場所が湖上のため、安全管理は徹底した。様子は YouTube にアップしている。

【委員】

ネイパル森の事業はいずれも面白そうな事業を行っている。

- ▶ YouTube にも終了した事業を掲載しているため、閲覧してほしい。

【委員】

高校生向けの事業はないのか。

- ▶ 深掘りアイヌが対象の事業だったが、高校生については参加が難しかったようだ。ただ、高校生はボランティアとして参加してくれている。

【委員】

令和 5 年度からはボランティア活動も手探りだが再開した。令和 6 年度からはネイパル森の事業にも積極的に参加させたい。

- ▶ 検討してほしい。

・他の委員からは特段意見はなく、全ての報告内容は確認された。

(4) ネイパルバス廃車について

- ・ ネイパルバスの部品の入手が困難となったため、廃車としそれに伴い無料送迎サービスも終了した。ただし、主催事業については、バスを借り上げることで対応する。
- ・ 他の委員からは特段意見はなく、全ての報告内容は確認された。

5 協議事項

(1) 令和6年度管理運営方針（案）

令和5年度の管理運営方針は、直す・創る・魅せるを行動指針とした。直す：見直しは積極的に行い、団体から返却されたアンケートを速やかに確認することで、団体への説明を迅速に対応できた。創る：新規プログラムを作りたかったが、感染症対策や、利用者が増え、職員の作業量に変化はなかったため、令和5年度の新規プログラムの開発は保留とした。魅せる：出会いの集いでは団体の良いところを誉め、事務連絡の場とはしないことを心がけた。また、団体へ事前に得られる情報は事前に提供した。達成目標については9,000人には満たないが、近づいてきている。新規利用者や、団体との調整の中で相違もあったため、アンケートでの職員の丁寧さに対する数値目は達成されなかったが、「満足」のみを抽出すると道立施設内僅差で2位の結果であり、高い満足度を獲得できている。

令和6年度の管理運営方針についての内容は大きく変更せず、ケアレスミスを避け、複数で確認し、窓口となっている職員の不在時でも対応できるように記録を残すようにする。

- ・ 委員からは特段意見はなく、上記の協議内容は承認された。

(2) 令和6年度主催事業（案）

- ・ 道教委から年間最低12本の主催事業を実施することとされている。令和6年度は12事業を計画した。繁忙時期は受入れ優先とし、閑散期に事業を行うように計画したが、秋以降に主催事業が続くため、4月、5月にも事業を行う計画を作成した。また、山口委員からも植樹の事業を行いたいと打診があったため、ネイパル森としては、支援事業として手伝えることはできると回答した。

- ・ 前回会議で、この場で委員から「親子事業の対象学年が低学年であり、上の学年に広げられないか」との指摘があり、そのことを組み込んだ事業も設定した。

【委員】

令和6年度はチャレンジが見える主催事業計画である。冬の事業は特に安全対策が重要と考えるが、どのような手立てを取っているのか。

- 冬季間に行う事業は令和5年度中に事前踏査を行う必要があることから、既に七飯スキー場との調整と現場確認を終えた

【委員】

防災キャンプについては引き続き同じ内容で行うのか。

- 同じ内容ではなく、毎回事業内容は変化を持たせている。今年度の内容はこのあと検討する。

- ・ 委員からは他に特段意見はなく、全ての協議内容は賛成多数のため承認された。

すべての議事が終了し、西尾委員長の議事進行を終了する。

以上をもって、令和5年第2回運営協議会を終了し、解散する。